

【CL名】武田さん 【解答者】ヤマチャン 【作成日】2023年10月7日 【作成時間】45分

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者は、仕事にやりがいを感じておらず、リモートワークではなく社での働き方に集まる飲み会や仕事にシムリ来ていない。そのことから転職も考えているという相談。

【設問2】1行目：良かった点、2行目：悪かった点 この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

- (良) 「シムリ来ていない」「モヤモヤする」という感情に言語的迫動を用いて深堀りできた点。  
(悪) 感情は深堀りできたが、「仕事自体」や「リモートワーク」に関する価値観に触れていない点。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ①問題 次の3点の問題と考える。(1)どのような働き方が自身に合っているかの理解不足。(2)周囲との関わりをどうにかコミュニケーション不足。(3)自身の仕事理解不足。  
②その根拠 (1)「リモートワークでは声をかけられたりなどされず自分のペースで進められた」という発言があったが「仕事自体は慣れている」という点。(2)「集まる飲み会ぞろい話には付かない」という発言。(3)「仕事にやりがいを感じていない」という発言。以上の点を根拠と取る。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の「シムリ来ていない」「モヤモヤする」という感情に引き続き焦点を当て、お気持ちに寄り添いながら傾聴することで信頼関係の構築に努める。これによる(1)リモートワークが相談者にとって何を意味するのかを質問し内省を促すことで自己理解を深めてもらう。(2)周囲とのコミュニケーションをどのように考えているのかを質問し、自身の価値観を根拠返してもらう機会を作る。(3)相談者にとってのやりがいに対して質問し、仕事理解を正確にもらう。最終的に、転職も含めた最適な働き方の意思決定ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。  
(2023.11)キャリアコンサルタント試験 実技(論述) 解答用紙